



編集雑記

既刊案内 (特集・主要記事)

[8月号]

◎全管連 魅力ある業界へ邁進 長野県軽井沢で総会・全国大会一致団結して若者の入職促進 ◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.69」富山県立大学 環境・社会基盤工学科准教授 黒田啓介氏を訪ねて 地下水や水浴プールの汚染を解明し安全・安心な水利用へ役立てる医薬品や人工甘味料を汚染マーカーに…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎ろ材再資源化特集Ⅰ ろ材再資源化促進協会の活動 新田会長対談 ◎ろ材再資源化特集Ⅱ 特別寄稿 砂は、国の貴重な宝である全国簡易水道協議会 相談役 眞柄泰基 ◎ろ材再資源化特集Ⅲ 水道サブライチェーン確保に向けて ◎空き家対策の課題解決を図るモデル的な取組を決定!…国土交通省 ◎心のバリアフリーに関するガイドラインを作成しました!…国土交通省 ◎全国12河川が「水質が最も良好な河川」に…令和3年は全国一級河川の96%で環境基準を満足…国土交通省 ◎ミナミサワ本社工場 宮崎、岩野両氏(東管協組)訪問 自動水栓の製造工程視察 ◎「明日への道標」他者を尊重する自己本位—夏目漱石の個人主義—(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎「東京見て歩き(103)」鳴門市の緊急時対応施設を見学…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道◎「特別連載」平成を偲ぶパロディ狂歌集(40)—平成一人百首ハラスメント③(全3首)…弁護士 野平大魚 ◎「フォトエッセーN0.2」あちら政界渡り鳥、こちら業界渡り鳥、今じゃ天下のご意見番!?(第1回)IDE研究所 井出浩司 ◎建築着工統計[2022年5月]…国土交通省 ◎エッセイ 西村修一、新田純子

[9月号]

◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.70」摂南大学 理工学部 都市環境工学科 教授水野忠雄氏を訪ねて オゾン処理プロセスは物質収支を基に解明を下水は活性汚泥法から全量オゾンに…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎PRESS RELEASE 普及に適した下水中新型コロナウイルスの高感度検出技術(EPISENS-S法)を開発…北海道大学 SHIONOGI/東京2020オリンピック・パラリンピック選手村の下水中新型コロナウイルス量と陽性者数との関連を解明…北海道大学 東京大学 大阪大学 ◎令和3年度「技能検定」の実施状況を公表します…厚生労働省 ◎水の里の魅力と大切さを伝える旅の企画を募集します!~水の里の旅コンテスト2022開催…国土交通省 ◎令和4年「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」を実施します…厚生労働省 ◎2020年度(令和2年度)の温室効果ガス排出量(確報値)について…環境省 ◎新たな「水辺を活かしたまちづくり」が始動…国土交通省 ◎新刊紹介 あらゆる浄水技術を網羅した関係者必読の1冊 浄水技術—次世代に向けて— ◎「明日への道標」真実を発見する責任—ガリレオ 地動説と異端審問—(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎「東京見て歩き(104)」農地の多い練馬区—都内の牧場とワイナリー、ブルーベリー農園…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道◎「特別連載」平成を偲ぶパロディ狂歌集(41)—平成一人百首地方行政(全5首)…弁護士 野平大魚 ◎「フォトエッセーN0.3」今よみがえるハリウッド映画のスターたち…IDE研究所 井出浩司 ◎建築着工統計[2022年6月]…国土交通省 ◎エッセイ 西村修一、新田純子

ときどき面識のない方々からメールやお手紙をいただいている。わたしが本誌に執筆した歴史上の人物に関する質問や感想だ。弊社は東日本大震災が勃発した2011年にホームページを開設した。読みごたえのある内容にしようと親切的な管理者のすすめで拙稿を掲載するようになった。アクセス数も年を重ねるたびに増えているという。

最近では「水の哲学」で紹介した古代ギリシャの多才な哲学者エンペドクレス、「明日への道標」で取り上げたコカ・コーラの中興の祖ロバート・ウッドラフについて真摯な問いあわせがあった。ひとは庄司薫の芥川賞受賞作品『赤頭巾ちゃん気をつけて』の愛読者、もうひとは現役の大学生だ。丁寧に読んでいただいて誠に恐縮している。

フィクションと異なってノンフィクションには参考資料が欠かせない。わたしも書籍やインターネットを通じて可能な限り情報を集めている。もっとも時間を費やすのはさまざまな資料を読み比べるとときだ。いったい何を書き、何を書いてはならないのか少しずつ見極めていく。やっとな焦点が定まると一気に一晩で書き上げる。

いったん自分の手を離れた文章はほとんど読み返さない。肯定でも否定でも誰かの刺激になれば幸いだ。この夏、会計学者の千代田邦夫氏が上梓した『経営者はどこに行ってしまったのか 東芝今に続く混迷』を贈ってくれた。震災後、わたしが書いた東京電力元社長・木川田一隆と福島第1原発に関する論考の一部が転載されている。企業の社会的責任をあらためて痛感した。(高倉)

給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第395号

令和4年10月10日発行 定価1,000円(税別)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884